

[教育]学部1年男子の 合格体験記

自己紹介

私は、教育学部に所属しています。長野県出身です。高校2年まで野球を続けていました。一般入試で入学しました。

東北大を志望した時期とその理由

志望した時期： 高校2年の夏

理由： もともと、教育政策に関して興味関心があり、そのような分野を扱う教育学部が少ないこともありこの大学を進路希望の一つに据えました。また、青木教授という少人数教育の研究を専門とした、教授がいらっしゃったことも大きな要因となっています。さらに、オープンキャンパスで東北大学の落ち着いた雰囲気非常に自分に合っていると思い、志望しました。

受験期の勉強方法

社会、理科、数学は特にですが、基本的に同じ問題集の反復でした。赤本や河合塾の問題集、学校で配られた問題集をノートに答えのみ書き込み、さらに問題集には何回間違えたかわかるようにしました。模試直前や、試験直前には特に間違えたマークの多いところをピックアップしたノートを作り、見直していました。

また英単語、古語、漢語に関しては、5回連続で正解できたら解かなくていいようにし、回転率重視で通学時間に絞って勉強しました。

モチベーションの保ち方

絶対に家では勉強しませんでした。勉強するならば必ず、塾か学校の自習室でした。家で勉強せずに寝てしまうと罪悪感がものすごいのので、「家は休む場所！」と心に決めて全力で休んでました。時々気が向いたら、家でも勉強をして、その時は「自分偉い！」とほめてあげていました。

また、1年、1か月、1週間、1日、1時間、15分刻みで目標を作ることで、常に達成感を持てるようにしていました。

受験直前～当日

AOIII期で一度同じ教室に行っていたのでそこまで、生活において困ったことはなかったです。しかし、時計の秒針の音など小さな音でも敏感になってしまっていました。当日は、東北大学の解答用紙には受験番号を書く欄のみがあって、名前を書く欄がなかったんですが、「あれ?!名前書いてないな?!」と焦り、結局近くにいた同じ受験生に確認し、安心したことがありました。名前を書く欄は、何度見ても見足りないなと痛感しました。帰りの牛タン、ずんだシェイクがおいしかったです。

大学に入学して…

【一人暮らし】

合格がわかるまでは、なぜか家を探すのが恥ずかしくて、探しもしませんでした。結果、5畳半の部屋しか残っておらず、さらに、立地は急な坂の上。内覧って大切だなあと痛感しました。

【部活・サークル】

私は、おおわん以外に東北大学祭事務局に所属しています。とても大人数の団体で、他学部の人ともたくさんつながりを持つことができ、非常に楽しいです。大学祭に参加する団体の対応をする局に所属しているのですが、メールの打ち方、電話の仕方、パソコンの使い方、敬語の使い方など、さまざまなことを学んでいます。2年生からは責任ある役職を任せてもらえることになり、来年への期待で胸がいっぱいです。

【バイト】

派遣や、学習塾、居酒屋、不動産屋、模試監督など様々なバイトを経験させてもらっています。それぞれのバイトで、学べることがあり、毎日が楽しいです。ただ、忙しいサークルに所属していると、バイトとの兼ね合いが難しくなります。スケジュール管理能力が高められます。まだまだ足りませんが。

また、個人的にはバイトをするなら、友人や先輩の紹介がおすすめです。ほとんど落とされることはありません。ただ、辞めづらいことが唯一の欠点です。

受験生へのメッセージ

今、そこで受験勉強が苦しいと思えているあなたは、ゴール直前まで来ている証です。あと少し！

